

平成30年5月期・期末連結決算の概要

I. 平成30年5月期・期末連結累計期間の概況について

医薬品業界におきましては、平成29年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」（いわゆる骨太方針2017）にて「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と明記され、ジェネリック医薬品は今後一層、数量シェアの拡大が見込まれております。しかしながら、社会保障費における薬価制度の在り方が政府内で活発に議論され、政府より平成28年12月にこれまで2年に1度であった薬価改定を毎年改定する方針が示されております。また平成30年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」（いわゆる骨太方針2018）においても薬価引き下げなどによる薬剤費抑制の方針が示され、今後、医薬品市場は単価下落により厳しい状況となると予想され、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

当社グループにおける原薬につきましては、消化性潰瘍剤原薬及び血圧降下剤原薬等の一部のジェネリック医薬品向け原薬の販売は堅調に推移しておりますが、全体的に医療現場での薬剤使用の適正化の影響及び大型品目を中心としたA G（オーソライズドジェネリック）の登場、並びに市場における競争激化等により厳しい状況で推移いたしました。

製剤につきましては、医療用医薬品において自社開発ジェネリック医薬品の販売増加、長期収載品目の製造受託及び一般用医薬品の販売増加があり好調に推移いたしました。

健康食品他につきましては、市場における競争激化等により、厳しい状況で推移いたしました。

II. 連結損益の状況

① 損益実績

(百万円)

	平成29年5月期		平成30年5月期		対前期比較		平成30年5月期 計画		進捗率
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%	金額	%	
売上高	37,984	100.0%	39,875	100.0%	+1,891	+5.0%	39,500	100.0%	100.9%
売上原価	30,243	79.6%	31,757	79.6%	+1,514	+5.0%			
売上総利益	7,741	20.4%	8,118	20.4%	+377	+4.9%			
販管費	3,908	10.3%	3,957	9.9%	+49	+1.3%			
営業利益	3,832	10.1%	4,161	10.4%	+329	+8.6%	4,100	10.4%	101.5%
営業外収益	169	0.4%	125	0.3%	△44	△26.0%			
営業外費用	122	0.3%	42	0.1%	△80	△65.6%			
経常利益	3,878	10.2%	4,244	10.6%	+366	+9.4%	4,150	10.5%	102.3%
特別利益	292	0.8%	29	0.1%	△263	△90.1%			
特別損失	285	0.8%	10	0.0%	△275	△96%			
税引前利益	3,885	10.2%	4,263	10.7%	+378	+9.7%			
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,656	7.0%	3,041	7.6%	+385	+14.5%	2,850	7.2%	106.7%

* 連結子会社数 3社 (大和薬品工業(株)、Daito Pharmaceuticals America, Inc.、大桐製薬(中国)有限責任公司)

* 返品調整引当金繰入額及び戻入額は、売上原価に含めております。

② 品目別売上高

(百万円)

	平成29年5月期		平成30年5月期		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	22,263	58.6%	20,848	52.3%	△1,415	△6.4%
製剤	15,372	40.5%	18,705	46.9%	+3,333	+21.7%
健康食品他	348	0.9%	320	0.8%	△28	△8.1%
合計	37,984	100.0%	39,875	100.0%	+1,891	+5.0%

III. 設備投資の状況

(百万円)

	平成29年5月期	平成30年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額(発生ベース)	3,505	3,603	+98
無形固定資産の投資額(")	24	51	+27
合計	3,530	3,655	+125

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 高薬理 R & D センターの建設	233	ダイト 高薬理医薬品の研究開発
・ 包装製造設備等	420	ダイト 製剤包装ラインの品目多様化改造
・ 第八製剤棟の建設	1,893	ダイト 高薬理医薬品の製造

決算発表・補足説明資料 (2/2)

平成30年7月13日
 ダイト株式会社
 (証券コード4577)

IV. 減価償却費の状況 (百万円)

	平成29年5月期	平成30年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	2,726	2,803	+77
無形固定資産等	91	49	△42
合計	2,818	2,853	+35

V. 研究開発費の状況 (百万円)

	平成29年5月期	平成30年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	1,266	1,522	+256

平成31年5月期・通期連結決算の予想

平成31年5月期の通期連結業績予想については、以下の通りであります。

I. 連結損益の予想 (百万円)

	平成30年5月期 通期		平成31年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
売上高	39,875	100.0%	40,800	100.0%	+925	+2.3%
営業利益	4,161	10.4%	4,300	10.5%	+139	+3.3%
経常利益	4,244	10.6%	4,350	10.7%	+106	+2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,041	7.6%	3,100	7.6%	+59	+1.9%

II. 品目別売上高 (百万円)

	平成30年5月期 通期		平成31年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	20,848	52.3%	21,400	52.5%	+552	+2.6%
製剤	18,705	46.9%	19,100	46.8%	+395	+2.1%
健康食品他	320	0.8%	300	0.7%	△20	△6.3%
合計	39,875	100.0%	40,800	100.0%	+925	+2.3%

III. 設備投資の状況 (百万円)

	平成30年5月期	平成31年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額 (発生ベース)	3,603	4,000	+397
無形固定資産の投資額 (")	51	50	△1
合計	3,655	4,050	+395

主な設備投資の内訳

設備内容	金額	備考
・ 高薬理R&Dセンター内に試験設備を増設	400	ダイト 高薬理試験設備の増強
・ 包装製造設備等	900	ダイト 製剤包装ラインの品目多様化改造
・ 第八製剤棟の建設	1,400	ダイト 高薬理製剤棟の新設 (総投資額 3,500百万円)

IV. 減価償却費の状況 (百万円)

	平成30年5月期	平成31年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	2,803	2,913	+110
無形固定資産等	49	47	△2
合計	2,853	2,960	+107

以上